

知道 CHIDO-KAIHO 会報

91

編集 知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人 鬼澤邦夫
発行日 平成29年10月1日
通巻 第91号
メール chidokai_mito@chidokai.jp
H P www.chidokai.jp

目次	創立140周年記念事業	1
	知道会会員の集い 企画紹介	3
	一高だより 山岳部、アマチュア無線部ほか	4
	学年・地域等同窓会	6

平成30年水戸一高創立140周年 記念事業として各教室へ電子黒板を設置

平成30年に水戸一高は創立140周年を迎えます。その記念事業として、1) 記念式典・記念祝賀会の挙行、2) 水戸一高年表（平成20～29年分）の作成、3) 各教室への電子黒板の設置、4) 生徒海外派遣事業への支援（平成30年度から10年間）を主な柱としておりますが、その財源として昨年秋から会員の皆様へ募金をお願いしております。

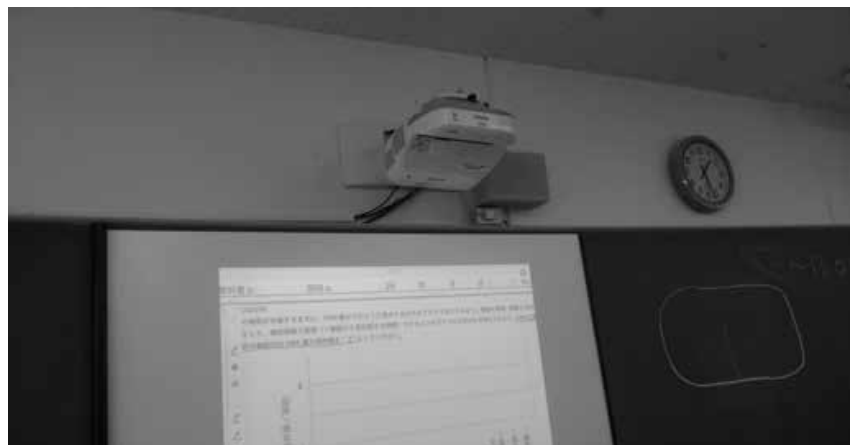
これまでにおかげさまで1,700名を超える個人や法人、地域・職域知道会、学年同窓会などからご協力をいただいております。その後も増加を続けております。

今回、平成29年8月31日までにご協力をいただきました方々のご芳名を中間のご報告として、本号に同封させていただきました。記念事業募金は平成30年11月まで継続しておりますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。

本号では記念事業の主な柱のひとつである「電子黒板」について、学校のご協力により概要をお知らせいたします。

ICT化に対応する 電子黒板

今、世界では教育のICT（インフォメーション&コミュニケーション・テクノロジー）化が急速に進んでいます。ICTとは、コンピ



電子黒板の投影機



プロジェクターのように、パソコンやカメラなどの画面をスクリーンに拡大して投射して、クラス全員で見ることができます。

ュータやインターネットに関連する情報通信技術の総称であり、IT（情報技術）に代わって用いられるようになった用語です。日本はそのICT化が最後進国といってもよいほどに遅れており、「世界最

先端IT国家創造宣言」を平成25年6月に閣議決定するなど、政府は教育のICT化を推進しようと躍起になっているところです。

その教育現場のICT環境の整備

※次ページに続く

今年の「会員の集い」は11月18日（土）水戸京成ホテルで開催します

として具体的に挙げられるのが、タブレット端末など一人一台の情報端末の導入、そして電子黒板の導入です。まだ、ほとんどの学校で設置されていないこの電子黒板を、140周年の記念事業の一つとして知照会の皆様の力で先駆けて本校に導入できることは実に素晴らしいことでもあります。

立体的な授業が実現

この電子黒板ですが、プロジェクターのように、パソコンやカメラなどの画面をスクリーンに拡大して投射して、クラス全員で見ることができます。プロジェクターとの大きな違いは、投射した画面上で電子ペンとよばれる専用のペンを用いて、字や図などを書き込んだり、画面を拡大したりすることができる点にあります。テレビの気象情報でよく見かける、画面に線を引いたりしながら説明するのと同じような使い方です。授業の中では、動画を流したり、必要な場面でストップして考えさせたり、ディスカッションさせたり、その画面に書き込んで説明したり、といった使い方が考えられます。あるいは、授業中に生徒がノートに書いた解答をカメラに写し、その画像を投射して、ペンで書き込んだりしながら説明することもできます。もちろんこれまではパワーポイントを投射しながら説明するだけだったものを、電子ペンで書き込みながら説明した

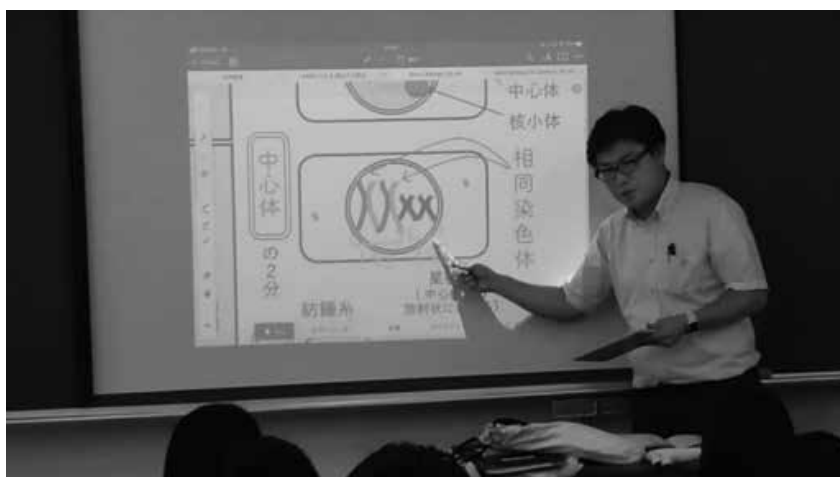
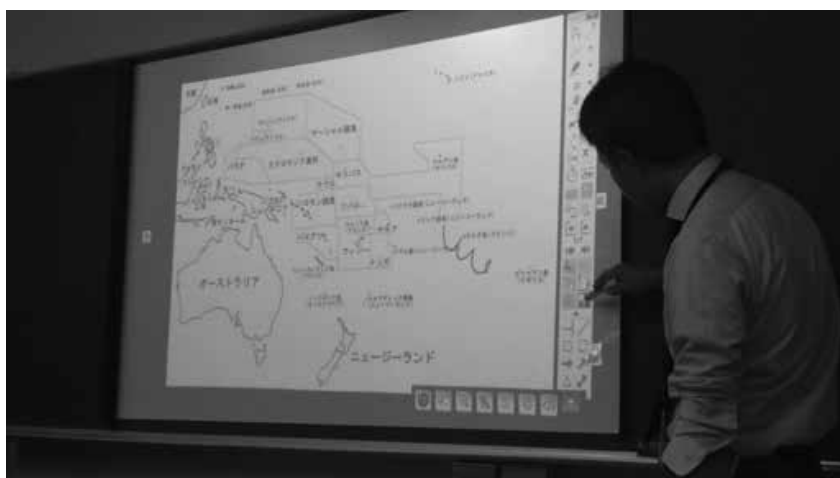
り、場合によっては生徒に書き込ませたりすることもできます。さまざまなコンテンツと組み合わせれば、さらにもっと発展したいろいろな使い方もできるのです。

主体的で深い学びを

さて、電子黒板の導入に向け、校内に電子黒板設置委員会を設けて検討を重ねて参りました。校内の意見を集約しながら進め、現在は機種と設置教室の希望をとりま

とめているところです。設置教室については、全普通教室25教室の他に授業の同時展開で使用する講義室等への設置を検討しています。

先日は電子黒板の利用に向けての教員研修会を開催し、導入後の活用に向けた準備も行ってまいります。来年度は、電子黒板を活用し、主体的で深い学びを実現して、生徒の力を今まで以上に伸ばしていきたいと考えています。



プロジェクターと異なり、図面を拡大したり、電子ペンで書き込んだりすることができます。

第66期第38回代議員会

第66期（平成28年10月～平成29年9月）第38回代議員会が平成29年5月20日（土）14時から知照会館において開催されました。審議等概要は以下の通りです。

(1) 栗原幹事長以下各委員会委員長から、第66期の中間報告として事業が概ね順調に進捗していること、

また、学年・地域・職域知照会の活動状況について報告されました。
(2) 第66期中間収支について関田財務委員長から報告され、引き続き会費納入率向上・口座振替の促進に努めたいとの説明がありました。小野瀬監事から会計処理が適切に行われている旨の報告がありました。
(3) 創立140周年記念事業予算につ

いて、栗原幹事長から説明され、原案通り承認されました。事業のうち学校へ寄贈する電子黒板については平成30年4月から使用できるように設置することが承認されました。
(4) 代議員会終了後、3月に実施された海外派遣プロジェクトについて、派遣生徒による報告発表がありました。

【知道会会員の集い 企画紹介】

平成29年知道会会員の集いを11月18日(土)水戸京成ホテルにて開催いたします。当日の日程は以下の通りです。

13:00~ 代議員会(12:30開場・受付開始)

13:50~ 生徒海外派遣プログラム活動報告

14:15~ 講演会 パネルディスカッション

「バブル世代が語る茨城の現在と未来~茨城にとっての地方創生とは?」

15:25~ 集い(17:15終了予定)
参加申込みは同封の郵便振替用紙にて会費(5,000円)をお振込み下さい。

なお、今年も若い会員の皆さんに知道会の雰囲気を知っていただくため、卒業6年目(今年平成24年3月卒業)以下の会員の参加費を無料といたします。また、子育て中の会員にも安心して集いに参加いただけるよう、別室にて専門業者による託児サービスを当日15時~21時の間開設いたします。詳しくは知道会ホームページをご覧ください。

各幹事学年から担当企画についての紹介と抱負を寄せてもらいました。

皆さまのご来場を実行委員会一同お待ちしております。

〈昭和61年卒から〉講演会担当

高校を卒業して32年、早いもので我々も50歳をむかえ、人生の後半戦に突入しました。

高校在学当時は50歳なんて、まだまだ先のことで、高齢者のイメージとしてぼんやり捉えていましたが、いざ、50歳となってみると、皆それぞれ、年齢を経ながらも、当時と何も変わってない部分が非常に多いことに驚かされます。

それぞれが社会的責任を持ちながら各方面で活躍し、半生を駆け抜けてきたなかで、今回の講演会については、何かテーマを決めて、各意見を集約してみたら面白いのではないかとということで、61年卒メンバーによるパネルディスカッション「バブル世代が語る茨城の現在と未来~茨城にとっての地方創生とは?」を企画することにいたしました。真面目でありながらも、学生時代に戻った気分楽しく、自由闊達に話し合っ

てみたいと考えていますので、宜しくお願い致します。

〈平成8年卒から〉集い企画運営担当

いよいよ40歳を迎えるH8卒。仕事で、家庭で、それぞれの暮らしの中ででんてこ舞いな毎日、ちょっと疲れた時には「ふるさとサブリ」が効きます。懐かしい仲間と思い出を振り返り、校歌を共に歌う。あの頃からの変化と成長をちょっとだけ感じてみる。先輩や後輩たちと出会い、つながり、明日につなげる。知道会とはそういう場所。だから今年の集いは「イバラッパー」さんをお迎えして茨城弁のシャワーをステージで。地元の仲間たちが、みんなの帰りを水戸でお待ちしております!

イバラッパー/茨城弁と標準語、自在にあやつる茨城のご当地バイリンガルrapper。ごじゃっぺでウィットに富んだリリック(歌詞)と茨城弁を活かした「ご当地ラップ」に中毒者が続出。茨城の音楽界に新風を吹き込む。「秘密のケンミンSHOW」「月曜から夜ふかし」「スッキリ」他、テレビや新聞でも多数取り上げられ、話題に。茨城王(イバラキング)としても執筆、講演、ラジオパーソナリティなど幅広く活動中。



〈平成18年卒から〉

受付・誘導ほか担当

創立140周年という大きな節目の前に、幹事の役割を担えることを嬉しく思います。母校の充実、一層の発展に向け、会員同士の交流を深め一致団結した支援をしていければ幸いです。

若輩者ゆえ至らないところも多々あるとは思いますが、心地よいおもてなしをし、楽しいひとときを過ごしていただけるよう精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

書籍紹介

増補改訂版

日本の進路を決めた10年

~国境を超えた平和への架け橋~
パズル・エントウイッスル 著
藤田幸久(昭44卒) 訳
1,400円+税



MRA(道徳再武装)の日本駐在代表として、1950年代に、日本の経済界や政府の指導者層と交流した著者の体験記の増補改訂版。

腸のリンパを流せば、病気が逃げ出す

大橋俊夫(昭42卒) 著
1,400円+税



前著「リンパを流すと健康になる」において、むくみとリンパの関係等について紹介したが、本書では、「腸のリンパ」の働きについて取り上げている。自らの健康を振り返ろうとしている方に。

歲月

中庭昌樹(昭50卒) 著
1,667円+税



長らく教育の現場に携わり、人の絆を愛した著者の処女歌集。きめ細かい珠玉の言葉で情愛や慈愛といった思いを綴る。

元気一番

開業医のつぶやきエッセイ集

埴 誠(昭32卒) 著
1,200円+税



30年発行され続ける診療所の手作り新聞に掲載された、「元気」な人生に役立つエッセイ集。

水濱電車

一水戸から大洗・湊へー

小野寺靖(昭34卒) 著
1,600円+税



かつて水戸~大洗を結んでいた水濱電車。その歴史や現状を丹念にまとめた1冊。

エフゲニー・キーシン自伝

エフゲニー・キーシン
森村里美(昭56卒) 訳
2,500円+税



カラヤンは言った。「彼は天才だ」。10歳でデビューをして世界的な人気を博した、現代最高のピアニストのひとりであるエフゲニー・キーシン、初の自伝。生い立ちから、ソ連での音楽活動の難しさ、音楽に対する向き合い方や人生に対する苦悩など、いままで表に出て来なかった彼の内面が、自身の言葉によって明かされる。

老子とキリスト

渡辺さとみ(昭47卒) 著
Kindle版



難解な聖書の言葉と老子の言葉が出会い融合する。混沌を深める時代に生きる全ての人へキリストと老子の叢智を紹介する。

EVENTS

平成29年

4月

- 7日 水戸一高入学式
- 8日 第14回OBミニ歩く会&お花見会
- 16日 みつば知道会総会
- 20日 広報委員会
- 22日 母校創立140周年記念事業実行委員会(第2回)第66期第2回幹事会
- 25日 親睦委員会
- 26日 平成29年度会員の集い第1回実行委員会

5月

- 20日 第66期第38回代議員会水戸下市知道会総会
- 31日 平成29年度会員の集い第2回実行委員会

6月

- 2日 親睦委員会
- 3日 水戸桜山知道会総会常陽知道会総会
- 11日 石岡知道会総会
- 17日 第38回知道会ゴルフ大会サザンヤードカントリークラブ
- 18日 笠間知道会総会
- 21日 県庁知道会総会
- 24、25日 第69回学苑祭
- 28日 平成29年度会員の集い第3回実行委員会

7月

- 2日 常陸太田知道会総会茨城町知道会総会
- 8日 土浦水中一高会例会城里知道会総会
- 9日 友部知道会総会岩間知道会総会
- 21日 鹿行知道会例会
- 22日 昭和47年卒水戸一高知道会 卒業45周年学年同窓会2017
- 26日 平成29年度会員の集い第4回実行委員会

8月

- 18日 広報委員会
- 19日 新荘知道会総会

9月

- 3日 那珂知道会総会
- 4日 親睦委員会
- 17日 水戸一高昭和48年卒同窓会第2回知道会BBQ大会
- 20日 平成29年度会員の集い第5回実行委員会

10月

- 14、15日 第69回歩く会 奥久慈コース

このページでは、この夏、全国レベル以上で活躍した個人・団体の紹介をします。

山岳部 全国高校総体 男女アベック出場

今年の高校総体登山大会は山形県山形市・西川町で開催された。

これまで男子が連続出場してきたが、今年は女子も県大会で優勝し、本校初の男女アベック出場を果たすことができた。男子隊は、黒梅翔伍

(33)、矢代真魁(34)、坂本匠(39)、飛田舜(23)のチーム、女子隊は、土屋沙樹(35)、大森菜花(37)、成瀬わかな(24)、中崎智代(25)のチームである。

大会は山形県の月山と蔵王山域の山々を縦走し、体力を競うほか、幕営・地形読図の技術や気象・救急等の登山に関する知識も審査され総合点で順位が決定する。毎年インターハイは暑さとの戦いであり、如何に熱中症を避けるかが課題であった。しかし、今年は東北地方の2000メートル近

くの月山での登山行動だったので、意外にも寒さとの戦いだった。苦しい大会の思い出を吹き飛ばす締めくくりは、蔵王の馬背から見るお釜であった。エメラルドグリーンの湖面は大会のつらさを忘れさせ、山行の清々しさを実感させた。最終得点は男子隊92.8点の第25位、女子隊92.5

点の第20位だった。女子は初出場にしてこの成績は誇らしい。

今年のチームは昨年度までの連続出場のノウハウを生かしながら本大会に臨んだ。しかし、男子隊はチームとしては連続出場ながら、選手個人は全員初出場で、大会の雰囲気にも呑まれてしまったことは否めない。特に読図のミスが悔やまれるところであった。来年度は本大会出場者が男子1人、女子2名残る。男女とも入賞目指し来年に向け準備を進めたい。



山岳部男子隊



山岳部女子隊

アマチュア無線部 全国大会 アジアオセアニア大会 入賞

7月29、30日に行われた第14回全国高等学校ARDF競技大会では、Sprint女子優勝 田口真衣(28)、2位宮下楊子(24)、7位法水千尋

(24)、団体 3 位、144MHz Classic 男子 4 位宮内亮輔 (38)、8 位渡邊洋平 (11)、女子 4 位宮下楊子、6 位田口真衣、団体 3 位に入賞した。渡邊洋平は男子新人賞も併せて受賞した。また、モンゴルで行われたReg 3 大会に土屋沙樹 (35)、宮下楊子が選抜され、土屋沙樹が 144MHz 3 位、団体戦は144MHz、3.5MHzとも準優勝となった。

書道部 第22回全日本高校・大学生書道展入賞

8月22日(火)から27日(日)に大阪市立美術館で開催された「第22回全日本高校・大学生書道展」において、佐藤結子(31)が展賞に、齋藤美桜(33)が優秀賞に入賞した。「学生書道のグランプリ」といわれ、



佐藤結子 (31)



書道部 表彰式の様子

今年も10,397点の出品があり、入賞し展示されたのはその一割弱の961点であった。「大賞」に次ぐ「展賞」は茨城県からは唯一の受賞であり、佐藤は「部長として学苑祭のパフォーマンスを乗り切れたことも自分自身の大きな成長に繋がりました」と喜びを語った。

化学部 第41回全国高校総文祭出場



東ヶ崎駿 (左) と小田金大輝 (右)

8月2日から4日までの3日間、宮城県石巻市・仙台市で行われた「第41回全国高等学校総合文化祭」

自然科学部門・口頭発表(化学部門)の茨城県代表として、化学部の東ヶ崎駿(37)と小田金大輝(39)が参加した。「酸化亜鉛の光触媒作用による有機化合物の光分解反応」という内容での研究発表では、審査員や他県の生徒から色々な質問をいただき、生徒達は質疑応答を楽しんでいた。巡検研修では、竜ノ口層及び向山層の露頭を見学し仙台市の地質について学んだ。この全国レベルの貴重な体験は、生徒達にとって大きな財産となった。

放送部 NHK全国高校放送コンテスト出場

7月24日から27日にかけて、NHK全国高校放送コンテストのアナウンス部門に、高柳沙織(31)、中庭史央里(33)が出場した。アナウンス部門では自分で原稿を作り、制限時間(1分30秒以内)付きで発表を行う。原稿はもちろん、発声やイントネーション、抑揚、間の取り方などで評価される。全国大会での目標としていた準決勝には進めなかったが、それぞれ自分の納得できる堂々とした発表ができた。今年度から強化合宿が行われるため、さらなる活躍を期待したい。

吹奏楽部 全国高校総合文化祭 宮城大会出場

8月2日・3日に開催された吹奏楽部門に、県内20校から選抜された「茨城県高等学校選抜吹奏楽団2017」のメンバーとして出場した。出場者は、選抜吹奏楽団団長の埜雪耶(35)の他、谷口朝香(32)、小林萌(21)、小林莉緒(21)、冨田春花(23)、山田浩人(23)、千田祥太郎(27)、永山大空(27)、関真依子(28)の9名である。曲目は、開催地宮城県にちなんだ「独眼竜政宗のテーマ」と吹奏楽の名曲「エル・カミーノ・レアル」で、練習・本番を通じて、選抜メンバー同士が技術を高め合うとともに親睦を深めることができた。また当日は全国の高等学校の素晴らしい演奏から多くのことを学ぶことができ、今後の部活動に向けて大変有意義な大会であった。

未定会 (昭和22年同窓生の有志会)

私共は、水中を昭和22年卒、今年・来年で88歳になる、老卒業生です。爺さんの暇つぶしとして、何年前から「何事も未だ定らざる老人の集まり」として、春、秋の年2回「未定会」のネーミングで会合を楽しんでおります。前回は「もうぼつぼつ終わりにした方が良いか」のつもりで案内状を送りました。今回も更にその思いでしたが、諸兄まだまだお元気なようで、今春は5月16日、三の丸ホテルにて開催いたしました。新たに未定会に顔を出してみたいとの希望者が現れることを期待して、今回参加者の写真とともにご報告いたします。次回は11月に開催の予定、同窓の皆様のご連絡をお待ちしております。

(昭和22年卒 古川史郎)



5月16日(右端の女性は付き添いの方)

卒業45周年同窓会 昭和47年卒業生

7月22日、ホテルレイクビュー水戸で学年同窓会が開催されました。2012年に卒業後40周年の学年同窓会を企画し、133人が出席してくれましたが、今回も107名が出席。恩師は清水壽夫先生がお元気な姿を見せて下さいました。エレベーターの中で、乗り合わせていた私たちの同級生からクラスを聞かれたと、先生から伺っても何の不思議も感じない若々しさでした。来賓として鈴木一弘水戸一高校長と栗原英則知道会幹事長がご出席下さいました。

当日司会の横山仁一さん(38組)には開催にあたって、声掛けから始まり、会の全般を仕切ってもらいました。照沼真夫さん(36組)には名簿・発送文書・当日資料の作成までお世話になりました。他の幹事の皆さんもありがとうございました。そして何よりも、出席してくれた同級生に感謝です。会計報告として、知道会に26万円強寄付できました。

物故者も22名(知道会把握)になりました。5年後には50周年を開催しましょう、ということでお開

きになりましたが、物故者が増えないことを祈りつつ、また水戸の地で皆さんと会えることを楽しみにしています。(33組 宮内寿子)



水戸知道会

水戸知道会総会が平成29年3月25日開催されましたので報告します。

現在総会は2年に一度開催しております。主だった行事としては、歩く会の支援ということで、一高校内の知道会館前にテントを張り、ゴールした生徒にポカリスエットを毎年配っております。(毎年1,000本)

水戸に地域知道会があり、現在活動しているのは、下市知道会(早川会長)、五軒知道会、桜山知道会(大川会長)、新荘知道会(久信田会長)、みつば知道会(北條会長)です。(千波、三の丸、石川、渡里の知道会は現在活動しておりません)

各知道会の会長さんを副会長とし、私が代表して水戸知道会の会長をしております。水戸知道会はこの水戸地域知道会の連合体として活動しております。会長・大金(五軒知道会会長兼務)、会計・志村(桜山知道会)、庶務・岡村(下市知道会)という構成で活動しております。水戸在住、もしくは水戸にお勤めの方々ぜひご加入ください。

さて魚政におきまして午後5時から始まりました。本会からは、来賓として栗原英則幹事長、藤田参議院議員、福島衆議院議員。ゲストとして、茨城ロボッツ山谷社長、大友隆太郎くんが参加し総勢32名の出席でした。

川崎篤君(平8卒)を講師に迎え、「水戸と真ん中再生プロジェクトについて」という演題にてグロービス学園を中心とした話と、プロバスケットチームの茨城ロボッツについて講演があり、その後懇親会に移りました。

大友隆太郎くんは平成25年水戸一高卒で現在、プロバスケット選手として、茨城ロボッツで活躍しております。皆で大友君を応援していこうということでとても盛り上がりました。またこの場で、篠原勉君(昭48卒)が千波知道会会長、森淳一君(平7卒)が千波の幹事を引き受けてくれるという嬉しい報告もあり、

とても楽しい総会になりました。

大金 誠

茨城県庁知道会

去る6月21日(水)、三の丸ホテルにて平成29年度茨城県庁知道会総会が開催されました。鈴木一弘水戸一高校長、栗原英則知道会幹事長、生井沢一夫ときわ知道会会長にもご臨席頂き、出席約200名を得て終始和やかな交流の集いとなりました。

総会は、関武志幹事長(昭53卒)の司会進行で、鈴木克典会長(昭51卒)の開会挨拶に続き、橋本昌、手塚克彦両名誉顧問、鈴木定幸特別顧問、菊地健太郎顧問、来賓からの挨拶、平成29年3月に勇退された先輩の紹介、花束贈呈へと進みました。

手塚名誉顧問の乾杯の発声により高らかに杯を上げ懇親へ。会場のあちこちで、所属や年代を超えた会員相互の交流が生まれ、活発な話の輪が広がりました。最後に元応援団員の指揮の下、全員で校歌を斉唱、生井沢一夫ときわ知道会会長の中締めで盛会のうちに散会となりました。

会員数567名の職域同窓会として、改めて母校と地域への貢献を誓う日となりました。

安西順仁(平20卒)



土浦水中一高会

平成29年度の土浦水中一高会は、7月8日(土)土浦市の「ロープ」で45名参加のもと行われました。この10年来参加していただいた女性陣の参加はいただけず残念でしたが、上は昭和24年卒の雨谷先輩から、下は平成24年卒の安部さんまで歴史を感じさせるメンバーに集っていただきました。

47年卒の芝山副会長の開会の辞、会長挨拶、知道会本部栗原幹事長祝辞の後、土浦恒例のミニ講演会が行われ、41年卒の篠原裕さんに「三島由紀夫 かく語りき」を語っていただきました。詳しい内容はこのタイトルと同じ書名で本が出版されていますので、ご一読ください。

懇談中には初参加者の若い方から力強い挨拶をいただき、この会の未来を感じることができました。最後は、土浦水中一高会誇る42年卒一色

幹事のリードのもとに校歌を斉唱、またこれも誇りである33年卒の大八木副会長の閉会の辞で式を閉じることができました。

参加者には毎年「至誠一貫・堅忍力行」の校訓の入った手拭いが送られます。これは創生期からの伝統で、10枚で浴衣ができると先輩から言われたものです（もっとも作った人を見たことはありませんが）。私も40数枚たまってはいますが、もっともっためたいと思った会でした。

（会長 桐原記）

水戸新荘知道会

8月19日（土）5時30分より、水戸市大工町の割烹「魚政」で、水戸新荘知道会の総会・懇親会が開催されました。

新荘知道会は、水戸市立新荘小学校の学区内に居住する知道会員の集まりで、知道会・水戸知道会と連携しながら、年1回総会・懇親会を開催しています。

今年度の総会は、桜井和郎知道会事務局長や大金誠水戸知道会長をは

じめ桜山・下市・みつば各知道会長など8人の来賓と会員11人計19人が参加してなごやかに行われました。

会は、吉田松陰が水戸に来たことは有名だが、実は桂小五郎も、文久3年（1863）に長州藩主の名代として、水戸藩9代藩主徳川斉昭が権大納言を贈られた祝賀とその墓参のため水戸に来ており、このことは今まであまり知られていないので、これから会員皆で大いに喧伝しようではないかという会長挨拶に始まり、かつて新荘学区内にお住まいになっていた藤田幸久参議院議員など来賓の挨拶をまじえ、各学年・各部（特に野球部）あるいは学年をこえた思い出話に話は尽きず、来年の再会を約してお開きとなりました。

新荘知道会長

久信田喜一（昭43卒）

学校創立140周年記念「水戸一高剣道部大同窓会」のご案内

剣道部OB会（会長＝宮田忠幸〈昭29卒〉）では、学校創立140周年にあわせて「大同窓会」を開催します。

当日は記念講演のほか、水中時代からの歴代部員名札掛も設置しますので、ぜひ参加いただき、自分の名前をご確認ください。

期 日／平成30年1月7日（日）

13：30～15：00

体育館で稽古

17：00～20：00

水戸京成ホテルで大同窓会記念講演／高山陽好氏（昭38卒 茨城県剣道連盟会長）の演武（北辰一刀流）と講話

なお、伝統ある剣道部の活動を記録した「剣道部史」なるものが存在しないので、次回の150周年に向けて資料を集めたいと考えています。特に水中時代の名簿や記録、写真など情報提供をお願いします。問合せ先（送り先）は、事務局（〒311-4203 水戸市上国井町1083-2 TEL/FAX 029-239-6308）宛。

OBへの通知発送は9月以降ですが、通知が届かない方は事務局まで問合せください。

事務局 剣道部OB会幹事長

小田倉康家（昭45卒）

茨城国体の開催に合わせ、日本100名城の水戸城大手門が復元されます！

水戸城歴史的建造物の整備プロジェクト、進行中

御三家水戸藩の居城、水戸城は、石垣を作らず、土塁と堀で囲われた巨大な平山城でした。水戸城の範囲は、現在の水戸第一高等学校から弘道館までの一帯であり、かつては、御殿や櫓などの歴史的建造物が建ち並んでいました。

今も土塁や堀などの遺構が残り、かつての風情を偲ばせていますが、水戸城建造物の多くは明治時代以降に失われてしまいました。

そのため、水戸市では、ありし日の水戸城の姿を再現する水戸城歴史的建造物の整備プロジェクトを進めています。

2019年9月、大手門を復元します～水戸城最大の城門～

大手門とは、お城の正面玄関に当たる門のことです。弘道館の正門と向かい合う場所に建っていました。二階建てで、水戸城では一番大きな門でした。

大手門を復元することによって、弘道館に来場される方が、大手門方面にも足を延ばし、お城の歴史と風景とをより一層楽しめるようになります。

日本の伝統的な工法（在来工法）で復元

残されていない建物をどうやって復元するか、疑問に思われた方もいると思います。実は、遺跡の発掘調査や、古い絵図や写真などの記録をもとに、古建築や歴史の専門家が話し合い、設計図を作成しました。

また、工事にあたっては、発掘で出土した瓦と同じものを用いるなど、細かな部材まで注意を払い、日本の伝統的な工法（在来工法）を用いながら、江戸時代

に建っていた場所に建設します。そのため、整備箇所のみは、市道は廃道になり、工事完成後は、歩行者、自転車（押し歩き）、緊急車両のみが大手門の下を通行できる予定です。

※既に工事のため通行止めとなっています。車で水戸一高にお出での際は、三高脇の坂道をご利用ください。



水戸城大手門工事概要：木造2階建て 建築面積約158.2㎡、高さ約13.3m、桁行約17.1m、梁間約5.7m、整備費約6億2千400万円

水戸城大手門の瓦、販売中！～一枚瓦城主になりませんか～

現在、水戸城大手門等の整備に使用する瓦（1枚3千円～）の販売を行っています。購入いただいた方は、「一枚瓦城主」として、芳名帳に掲載され永年保存されるとともに、瓦にお名前を記名する記名会（2018年夏開催予定）に参加することができます。

一枚瓦城主については、水戸市教育委員会歴史文化財課（029-306-8132）までお尋ねください。

お城のある風景を水戸に

水戸市は関東でも有数の城下町として発展しましたが、今回の水戸城歴史的建造物の整備により、長く失われていたまちのシンボルである水戸城の風景がよみがえります。大手門の完成は、茨城国体の開催される2019年9月を予定しています。ぜひ、楽しみにして下さい。

水戸市教育委員会歴史文化財課長

白石嘉亮（昭61卒）

総務委員会

平成29年会員の集い実行委員会
は7月までに4回の実行委員会

を終え、恒例の暑気払い企画を8月19日(土)、「まちなか・スポーツ・にぎわい広場(水戸市南町自由広場・旧ユニー跡地)」に新たにオープンしたばかりの「ME!EAT!!」にて開催しました。オープン3日目の真新しい店内で、正副幹事長ほか実行委員約20名の参加により、会員の集い成功に向けて意見交換をしつつ賑やかに交流を行いました。また、会の途中にはこの広場にアリーナを開設する「茨城ロボッツ」から大友隆太郎選手(H25卒)や運営スタッフなど水戸一高の卒業生もお顔を見せて下さいました。

実行委員会も開催に向けていよいよ大詰め。会員の集いの講演・企画など詳細につきましては本号の記事をご覧ください。また、随時知道会ホームページに情報を掲載して参ります。

親睦委員会

親睦委員会の活動報告を致します。
6月17日サザンヤードカントリークラブで行われた第38回知道会ゴルフ大会は、例年より少ない33名の参加者で内4名の女性の参加がありました。

優勝は、昭和58年卒の椿素子さん。ベストスコア賞は、磯崎雄司さん、第3位は和知泰次さんでした。昭和58年卒は、今年は当たり年です皆さん素晴らしい活躍です。

また、9月9日に行われた第2回BBQ大会は、子どもを入れて25名の参加がありました。

昨年より若干少なめでしたが、秋晴れの素晴らしいお天気で、とてもすがすがしく素晴らしいBBQ大会となりました。お肉をたくさん食べて、ビンゴ大会をし、飲んで大いに楽しみました。平成卒の若い方々の集まりのため、今回、知道会の行事に初参加という方もいらっしゃいました。これを機会に「知道の集い」を始めとする知道会活動に参加するきっかけになればと思います。

財務委員会

年会費の納入は口座振替で!

便利で手間いらず!銀行等預金口座振替をご利用ください!皆様にお届けする『知道会報』は、皆様の年会費で成り立っています。母校や同窓生の情報、地域の知道会活動などを皆様にお伝えすることで、同窓生の交流に繋がっています。

皆様の年会費は、会員相互の親睦を深めるほか、母校支援事業として各種大会参加への援助や歩く会支援、生徒海外派遣の助成など、母校の発展と将来ある在校生たちの応援に結びついているわけです。

われわれ同窓生も、永い知道会の歴史の中で恩恵を受け、同窓生の繋がりの中に身を置いているわけでありますので、ぜひとも年会費の納入にご協力をお願いします。

口座振替での年会費納入をご希望の方には、事務局より振替依頼書を送付しておりますのでご連絡ください。

名簿委員会

平成30年の名簿発行に向けて

周年行事の年にあわせての名簿発行もいよいよ来年となりました。名簿発行については従前より「株式会社サラト」さんに名簿作成を依頼しており、記載情報についての「調査カード」の作成・発送も依頼しております。

今般その形式についての打合せも終わり、10月21日頃に会員の皆様に名簿発行のお知らせとともに調査カードをご送付する予定となっておりますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。名簿自体につきましては、平成30年7月下旬頃を目安として発行を予定しております。

知道会事務局のご協力もいただきながら、140周年を迎えて会員の皆様により正確で記念ともなる名簿をご提供できるよう、今後も名簿発行に向けて委員会一同努力してまいります。

また広告の掲載につきましても、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。
名簿委員長 水口二良

物 故 者 (H29.4 ~ H29.9 迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。)

旧職員	箕輪 晋	昭21中	渡邊 滋	昭31高	小沼 清	昭40高	柳田 友厚
昭10中	加藤 信之	昭22中	三村 敏	昭31高	菊地 雄一	昭43高	川原井照男
昭11中	小林 定義	昭22中	横田 秀敏	昭31高	安 勝弘	昭44高	浅井 敏博
昭13中	田上 満徳	昭23中	岩間 利美	昭31高	猪瀬 正剛	昭44高	小舩 邦夫
昭15中	河井 勲	昭24高	横田 秀雄	昭31高	江原 宏	昭44高	山田 憲治
昭15中	武内 忠明	昭25高	関 濟美	昭31高	松本 宏	昭47高	佐藤 寿夫
昭15中	中山 義昭	昭25高	石川 卓	昭31高	神沢(大内)照子	昭47高	秋山 康雄
昭17中	井上 治貞	昭25高	大森 藤和	昭32高	池浦 理信	昭47高	石川 栄一
昭17中	中村 城三	昭25高	富田 幸雄	昭32高	岡崎 克彦	昭47高	中村(中島)健二
昭18中	塙 輝雄	昭26高	井上 正昭	昭32高	大中臣律子	昭47高	二川 哲也
昭18中	袖山 庸一	昭26高	五位 洵	昭33高	伊藤 健司	昭49高	神長 昌子
昭19中	青木 英	昭26高	猿田 道夫	昭33高	安 登志夫	昭49高	高野 晃義
昭19中	打越 茂	昭26高	新藤精一郎	昭34高	坂本 紀興	昭49高	坂口 志朗
昭19中	船橋(部)能行	昭26高	富永 融	昭34高	稲野辺(鶴田)紀興	昭51高	松田 二郎
昭19中	清水 大藏	昭26高	吉田 晃	昭34高	小野 利家	昭51高	押久保 操
昭20中⑤	北山 健一	昭27高	風祭 元	昭35高	成田 達	昭51高	渡辺 憲夫
昭20中⑤	須藤 富雄	昭28高	上田 健治	昭36高	佐藤 喜彦	昭57高	篠根 文男
昭20中⑤	田村 光男	昭28高	鈴木 賢	昭36高	海老根 隆	昭57高	山岸(中澤)暢子
昭20中⑤	宮本 茂磨	昭28高	鶴田 稔雄	昭36高	高木 英亮	昭61高	金子 欣也
昭20中⑤	栗田 善一	昭29高	梅原 栄二	昭36高	藤田 博己	昭63高	荻原 康一
昭20中④	尾吹 真人	昭30高	菊地 淳吉	昭36高	羽石 忠夫	平3高	大津 弘毅
昭20中④	柳田 昭	昭30高	太田 励介	昭36高	車田 治平	平7高	小野瀬敏弘
昭20中④	橋 馨	昭30高	結城 佑	昭37高	神保 矩康		
昭21中	林 秀男	昭30高	関根 健愷	昭39高	村田 省吾		
昭21中	小田 博之	昭31高	大嶋 茂男	昭39高	清水(長谷川)正道		

【事務局から】

6月24、25日に第69回学苑祭が行われました。昭和43年卒業以来、久しぶりに学苑祭の様子を見に来ました。年配の方も沢山来ていて、何となくほっとしました。生徒たちが色々工夫して祭りを盛り上げていて面白かったです。

10月14、15日は第69回歩く会、3年続きの雨のゴールにならないよう祈り、完走率100%を目指す後輩たちを応援しましょう。

学校基本データ

学校創立	1878年(明治11年10月2日)
平成29年	創立139年
同窓会員数	38,146人(平成29年9月現在)
住所判明者	21,573人(平成29年9月現在)
在籍生徒数	970人(男子548人 女子422人) (平成29年4月現在)